

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ウルヴァリン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.540	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ウルヴァリン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：ハニーバジャー・エクストリーム**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

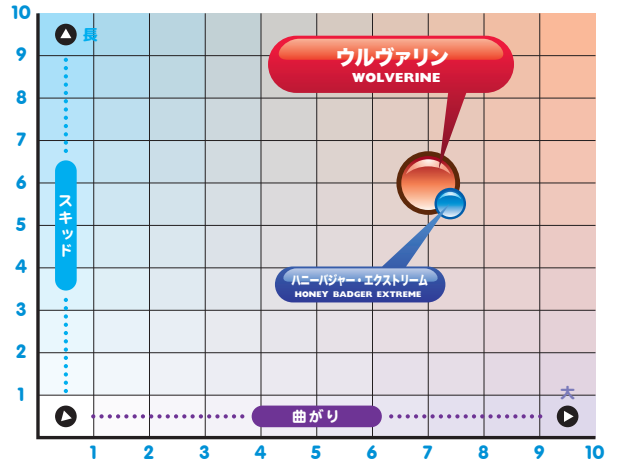
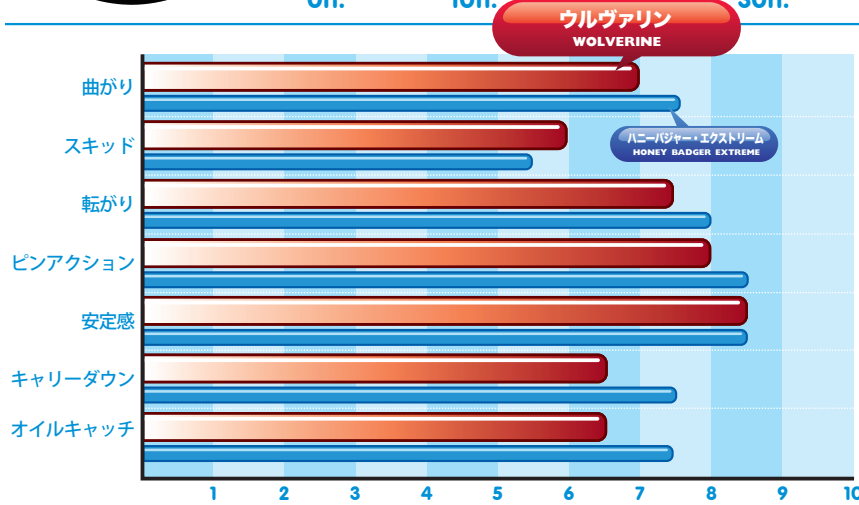
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil
バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle
レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

### ボールの評価

900GLOBALではパフォーマンス領域を900シリーズ、800シリーズ、700シリーズ、600シリーズの4種類に分類し、各々特徴のあるLINE UPを取ることで人気を博しています。今回新たに700シリーズに加わったWOLVERINEは中盤から後半にかけて盤石のリレーを可能にするために必要不可欠なスペックとして作り上げられました。その性能を引き出すために選ばれたのが信頼性の高かったBLACK OPSを担っていたS70カバーストックで、走りを極めたDESERT OPSと同じS70パールカバーストックを搭載しています。コアは新開発のLacerate 2.0 Symmetricで、コントロール性を高めた特性があります。

現在700シリーズには攻撃性に特化し、板目を使って攻める場合や、奥の動きが欲しい場合に選ばれる、日本のユーザーに大人気のHONEY BADGERシリーズがあります。前記の通り中盤から後半にかけて盤石のリレーを可能にする場合、どうしてもHONEY BADGERシリーズでは補えないものがあります。それが過激な反応を抑えたスペックの必要性です。HONEY BADGERシリーズのように奥で動きを高めることで優位に働くこともあれば、奥で反応し過ぎることで不利に働くこともある。

スポーツコンディションが普及する中で700シリーズの中に直進性とコントロールに特化したWOLVERINEと攻撃性に特化したHONEY BADGER双方を存在させることはもはや必然だと言えるでしょう。

WOLVERINEの特性としては直進性が高く、板目を使わないラインとの相性が良いため、スポーツコンディションを中心にボールの動きを抑えたいときに役立ちますし、日ごろから最近のボールが動き過ぎてお困りのかたはWOLVERINEは非常に扱いやすいボールだと思います。

### 特記事項

**900GLOBALの700シリーズで直進性・コントロールに特化したWOLVERINEが攻撃性に特化したHONEY BADGER。この2つの異なる性能でレーンを完全攻略。**